

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

ブンカ

BUNKA

vol.
98
2025
autumn



旬の文化が集うコミュニティマガジン 季刊

ブンカ

BUNKA VOL.98 2025.9.15

発行 公益財団法人 福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎0776-382888 <https://www.hnl.jp>



公益財団法人
福井県文化振興事業団

ふくい文化創造センターのご案内
第2回 ふくい文化創造センター活動ニュース



ハーモニーホールふくい

大森神社跡地の鳥居（福井市）



南山地区にある現在の大森神社。地区住民の神社として年に3回の例大祭が行われている。

大森神社跡地の鳥居
場所／福井市監三ヶ町



田んぼの中の鳥居に潜む歴史とミステリー

福井市の郊外、東郷地区の田園地帯の道路わきにポツンと立つ古い鳥居。不思議な立地が話題ですが、「大森神社跡地の鳥居」として福井市の景観重要建造物にも指定されています。鳥居の東側約300メートルの田んぼの中には、神社跡地とされる小さな森が佇んでいます。

「東郷村誌」によると、宝暦年間（1751〜64）に神社を南の山麓に移設。後に鳥居も現在の位置に移されましたが、神社跡地はそのまま残されました。今、跡地はこんもりと木に覆われ、鳥居と向かい合って昔話でもしているかのようです。

鳥居の西の方には、北陸街道を見渡せる歴史的な要衝・城山があります。両者の位置関係はほぼ東西線上にあり、彼岸の夕日はちょうど鳥居の間に沈むのだそう。秋分の日、古に想いをはせながら鳥居の日没を眺めるのも一興です。冬は真っ白な雪の中に浮かぶ鳥居の景色も独特で、雪をかぶって消えたように見えることもあるそうです。

※表紙の写真は、魚眼レンズを付けたカメラで4方向360度撮影したものをパノラマ合成したものです。

CONTENTS

- 1 今号の表紙
- 2 TOP INTERVIEW アートと私 三谷進治氏（三谷セキサン株式会社 代表取締役 社長／一般財団法人 三谷市民文化振興財団 理事長）
- 3 Interview 若き天才ピアニストの これまでとこれから ピアニスト 小林愛実氏
- 5 Piano Stars 名曲オンパレード対決の秋 ロマン派の真髄に浸る冬
- 6 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 9 2025年10〜12月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 10 越のルビーアーティスト 豊永美恵氏（クラリネット）
- 11 ふくい文化創造センターのご案内 第2回 ふくい文化創造センター 活動ニュース
- 13 アートシーン 〈キーパーソン〉「みんなで舞台に立とう」を広げる会 代表 酒井晴美さん
〈アートの息吹〉エイトリボン（坂井市）／〈アートプロジェクト インフォメーション〉
- 15 寄稿 若狭の文化一伏流する空間の記憶のなかにあつてー 永江寿夫氏（若州一滴文庫 館長）
- 16 古きを訪ねて 日向神楽（坂井市）
- 17 Essay ウェルビーイングと文化芸術 その根源とは 文 朝倉由希氏
- 18 Information

TOP INTERVIEW アートと私

多様な市民活動を支援し、地域づくりに貢献したい。

先代の思いを受け継ぎ 文化活動への助成事業を推進

昨年他界した父・三谷宏治は、社長として三谷グループを率いながら、プライベートでは絵画を収集。自宅だけでなく会社にも飾り、会社に訪れる方の目を楽しませていました。創作にも情熱を注ぎ、地元の画家・松崎真一先生に師事しておりました。父が「三谷市民文化振興財団」を設立した1994年は、高齢化や週休2日制が定着しはじめた頃。より人

三谷進治氏

三谷セキサン株式会社 代表取締役 社長
一般財団法人 三谷市民文化振興財団 理事長



みたとしんじ●1970年福井市生まれ。大学卒業後、日本長期信用銀行、三谷商事を経て、1993年三谷セキサンに入社し、2001年より現職。2008年、三谷グループが運営する（一財）三谷市民文化振興財団理事長に就任。背後の絵画は、三谷社長の父で、同財団前理事長の三谷宏治氏が「東尋坊」を描いた作品。

間らしい生きがいを探る機運が高まると同時に、企業が文化・芸術活動を支援するメセナ活動が盛んな時期でした。その中で、心豊かな社会づくりに貢献したいと本財団を立ち上げたのです。福井県内においてボランティア、スポーツ、市民文化の3部門で活動する民間の非営利団体を対象に助成金を交付し、コンサート、展覧会、体験会などのイベント開催や作品制作などに活用いただいております。現在の助成金額は1件当たり20〜50万円。2025年には対象を石川県まで拡大し、能登半島地震の被災地ボランティア活動の一助になればとも考えています。

ニーズの高まりを念頭に より積極的な広報を

設立当初の年間助成件数は20〜30件程度でしたが、2024年には184件となり、このうち市民文化活動は3部門の中で最多の85件でした。内容は合奏や合唱、演劇、落語、絵画、華道や書道、俳句、歴史研究など非常に幅広く、近年はプラモデル制作などポップカルチャー関連も増えています。約30年の間に支援した団体は10

00を超え、毎年、2つの団体の活動状況を、年1回発行の広報誌「遊楽彩祭」でご紹介しています。本誌は公共施設など約120カ所程に設置していますが、より多くの方に制度を知っていただくために、新聞やテレビの広告を活用。今後は石川県も含め一層の周知を図りたいと考えています。本事業を続ける中でやはり嬉しいのは、ご利用いただいた団体や関係者の方から感謝の言葉をいただくことです。人生100年時代といわれる今、仕事や勉強だけでなく、文化活動やスポーツ、ボランティアなどの体験を求める人がますます増えると思われまます。これからも、地域に根差した団体の皆さまの活動を応援してまいります。



「福井交響楽団」(2024年度助成)は、「ハーモニーホールふくい」大ホールにて福井県民による合唱とオーケストラで演奏するベートーヴェンの交響曲 第九番のコンサートを2025年12月に開催予定。

ピアニスト

小林愛実

Aimi Kobayashi

若き天才ピアニストの
これまでとこれから

こばやしあいみ●2021年10月「第18回ショパン国際ピアノコンクール」第4位入賞。7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たす。ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラ、ソビエフ指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管など多数のオーケストラと共演。2010年14歳でEMI ClassicsよりCDデビュー。2024年11月に最新CD「シューベルト4つの即興曲 作品142、ピアノ・ソナタ第19番 ハ短調、ロンドイ長調(連弾)他」をリリース(ワーナークラシックス)。2022年3月、第31回出光音楽賞受賞。

幼い頃から数々のコンクールで優勝を重ね、「天才少女」として知られていた小林愛実さん。2021年の第18回ショパン国際ピアノコンクールでの第4位入賞を機に、広くお茶の間までその名が知られるようになりました。その後結婚・出産を経えますます進化を続ける小林さんに、ピアニストとしての「これまで」と「これから」を語っていただきます。

”天才少女”誕生
そして世界へ

「私は小さい頃とても人見知りで、それを心配した母が、色々な習い事に通わせてくれました。そのひとつが2歳から習い始めたリトミック。そこでピアノに出会い、3歳の時に自分から「ピアノをやりたい」と言ったそうです。故郷の山口県から一家で東京に来たのが小学5年の時。桐朋学園の子どものための音楽教室に入りました」

14歳で早くもCDデビューを果たした愛実さん。その後、桐朋女子高等学校に進み、高校3年の時にアメリカの名門カーティス音楽院に留学します。「実は合格と同時に、親には内緒で桐朋に退学届を出しちゃったんです。それを知った両親はめちゃくちゃ怒りました(笑)。ちょうどその頃、自分の中では本当に音楽家になりたいのか迷いだしていたので、環境を変えてみるのもいいかなと思って留学を決めたんですが、最初は英語もわからなくて全然楽しくないし、ピアノも辞めた

カーティス音楽院在学中に仲良しのケイト・リュウ、エリック・ルーと一緒に。

くなりました

二十歳で迎えた転機は
コンクールがきっかけ

2015年第17回ショパン国際ピアノコンクール挑戦後に、1年間休学した愛実さん。その後カーティス音楽院に復学し、彼女に転機が訪れます。

「コンクール後、もう一度ピアノを勉強して、もっと上手くなりたいという気持ちになりました。そのために自分自身が変わらなければと思った。だから、復学してからは、友だちにも積極的に話しかけるようにしましたし、そうすると、みんな同じ目標を持つ仲間なので一緒にがんばろうという思いで接してくれる。自分が変われば周りも変わる、ということを実感してからは、ピアノに対するモチベーションも上がりました」

2015年に初めて挑戦した直後は「二度と行かない!」と思っていただけというショパンコンクール。6年後の第18回には、悩みつつ「とりあえず出願」したそう。

「2017年頃から、自分のキャリアのためにはコンクールに出た方がいいと考え始めました。ショパンコンクールについては前回より成長した姿を見せなければ、というプレッシャーがあり、正直決めかねていたんです。でもそこでコロナ禍がやってきて、コンクールが1年延期になる中で自身の音楽家としてのキャリアをじっくりと考え直す時間ができ、最終的に出場することを決めました」

充実した人生の中で
さらなる高みへ

こうして出場した第18回ショパンコンクールで見事に第4位入賞という結果を勝ち取ったのはご存知の通り。その後、同コンクールで第2位を獲得した反田恭平さんと結婚、出産というプライベートでの転機も迎えることになりました。

「子どもには自由に生きてほしい。両親が表舞台で仕事をしていることで生きづらいこともあるかもしれないので、こちらからこうしたらという制限はか

けたくないですし、人生において最終的には自分の意志が大切だということは、私自身が強く思ってきたことです。自分がやりたいことを見つけてくれたらいいですね」

12月のリサイタルでは、シューマンの「クライスレリアーナ」が予定されています。

「シューマンは、今の環境や心境と一致していて、音楽を表現しやすいのです。ショパンコンクールのイメージが強いかもしれませんが、もっと色々な作品に挑戦していきたいです」

今年で30歳になる小林愛実さんの音楽世界は、まだまだ広がっていきそうです。

構成・文/室田尚子
(音楽評論家)

12/13(土) 協賛: FM FUKU

小林愛実 ピアノ・リサイタル

小ホール/14:15開場 15:00開演
全席指定・車いす席 ¥5,000
(小〜大学生:半額)出演/ピアノ:小林愛実
曲目/シューマン:クライスレリアーナ
ショパン:3つのマズルカ
ラヴェル:クープランの墓 ほか

※曲目は変更になる可能性があります

※詳細はP.5へ

2026年のニューイヤーは ウィーンの風を存分に感じて

ウィーン・リング・アンサンブルは、2016年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターとして楽団の顔だったライナー・キュッピルを中心に、ウィーン・フィルの現役やOBの演奏家が集まって結成されました。メンバーはヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ホルン各1名、クラリネット2名の総勢9名。その中にはフルートのカール・ハインツ・シュツツ、ホルンのロナルド・ヤネシツツなどの名手のほか、昨年11月にウィーン・フィルのメンバーとしてハルモニホールふくいにやって来たウィーン・フィル楽団長のダニエル・フロシャウアーも含まれています。その際、青少年プログラムなどでウィーン・フィルの歴史や音楽について熱く語ってくれたフロシャウアー。楽団長として福井の観客とオーケストラとの絆をしっかりと繋いでいってくれました。そんな昨秋の興奮も冷めやらぬ中、今年度は2026年のニューイヤーコンサートで、再び福井にウィーン風の吹きわたります。

名前にある「リング」とは、ウィーンの旧市街を取り巻く環状道路「リングシュトラッセ」のことで、道沿いにはウィーン・フィルの本拠地であるウィーン楽友協会のほか、ウィーン国立歌劇場、ブルク劇場、



管弦楽：ウィーン・リング・アンサンブル

2026.1/10(土) 協賛: FBC

ニューイヤーコンサート2026 ウィーン・リング・アンサンブル

大ホール/開場 14:15 開演 15:00 S席・車いす席 ¥8,000 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 (小〜大学生:半額) 特別協賛会員・友の会会員 2割引! Piano Stars特典: S席半額

出演/ヴァイオリン:ライナー・キュッピル、ダニエル・フロシャウアー、ヴィオラ:ハイムリヒ・コル
チェロ:シュテファン・ガルトマイヤー、コントラバス:ミハエル・ブラデラー
フルート:カール・ハインツ・シュツツ、クラリネット:アレックス・ラドシュテッター、ヨハン・セントラー
ホルン:ロナルド・ヤネシツツ

曲目/J.シュトラウスII:ワルツ「芸術家の人生」、喜歌劇「ジプシー男爵」から「序曲」
C.M.ツィーラー:ワルツ「ウィーン市民」ほか

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 10/21(火) 友の会: 10/22(水)
一般 10/25(土)

ウィーン市庁舎、国会議事堂、ウィーン大学などの歴史的建造物が並びます。このウィーンを象徴する通りの名を冠したウィーン・リング・アンサンブルは、1999年以降毎年、楽友協会で行われる年末恒例のコンサートシリーズに出演し、シュトラウス・ファミリーやツィーラー、ラナーなどの手によるワルツやポルカを演奏して、ウィーンっ子たちから絶賛の声を集めています。

来日公演はたびたび行っているウィーン・リング・アンサンブルで

ですが、ハルモニホールふくいでのニューイヤーコンサートは2002年以来、実に24年ぶりです。ヨハン・シュトラウス2世のワルツ「芸術家の人生」、喜歌劇「ジプシー男爵」から「序曲」やツィーラーのワルツ「ウィーン市民」など、今回もシュトラウスの作品を中心に、本場の「ウィーン訛り」の音楽をたっぷり聴かせてくれる予定です。

音楽家としての人生をウィーンで育んできたメンバーたち。ウィーン・リング・アンサンブルの演奏からは、彼らのウィーンという街によせる愛情が伝わってきます。2026年のニューイヤーは、そんなウィーン愛にあふれた音楽にひたってみませんか。

9/24(水) 協賛: FUKUVI 福井信用金庫

沖澤のどか指揮 京都市交響楽団

大ホール/開場 18:15 開演 19:00
S席・車いす席 ¥7,000 A席 ¥6,000
B席 ¥5,500 C席 ¥4,500 (小〜大学生:半額)

出演/指揮:沖澤のどか、管弦楽:京都市交響楽団

曲目/フランク:交響曲 第3番
リムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェラザード」
(ヴァイオリン:石田泰尚(京響ソロコンサートマスター))
(共催: FBC)

チケット発売中



ヴァイオリン: 石田泰尚 指揮: 沖澤のどか

今最も注目を集める2人
夢の共演を福井で!

14年ぶりの来福となる京都市交響楽団。世界的に高い評価を受ける常任指揮者・沖澤のどかとの相性も抜群。さらに今回は、カリスマ的人気を誇るコンサートマスター石田泰尚が、名曲「シェラザード」でソロを務めるのにも大いに注目です。

ハルモニバス(坂井市・大野市内からの無料バス)を運行!
お問い合わせはハルモニホールふくい TEL.0776-38-8289(9:00~19:00・休日を除く)

フレンドリーアート号(嶺南地域からの無料送迎バス)のお申し込みは
福井県文化課 TEL.0776-20-0582まで。

Piano Stars

名曲オンパレード対決の秋 ロマン派の真髄に浸る冬



ピアノバトル

2025年ハルモニホールふくいを賑わせている「ピアノ・スター」たち。12月には、いよいよ小林愛実が登場します。7歳でオーケストラと共演、14歳のときにサントリーホールでのリサイタル、ならびにCDデビューを果たし、幼い頃から天才少女の名をほしいままにしてきた小林。2021年には第18回シヨパン国際ピアノコンクールで第4位入賞、世界中がそのピアノの素晴らしさに賛辞を贈りました。その後、結婚・出産という経験を経て、新たな音楽性を獲得しつつある、という評価も聞かれます。

今、もっとも注目を浴びるピアノ

ストである小林が、福井公演のために選んだプログラムはシューマンの「クライスレリアーナ」。1838年、シューマンが28歳の年に書かれたこの作品は、作家・画家・音楽家だったE.T.A.ホフマンの小説に登場する「楽長クライスラー」の物語に靈感を受けた8曲からなるピアノ曲集。作品はシヨパンに献呈されましたが、シューマンは妻クララに宛てた手紙の中で「この曲は君に捧げようと思う」と綴っており、クララへの想いも込められています。「シューマンの最高傑作」ともいわれるこの作品について小林は、「激しさと静けさという対極的な要素があります。ただ、指の



ピアノ: 小林愛実

テクニク的には、私にとっては弾きやすいもの」と語り、自信をのぞかせています。

プログラムは他に、シヨパン「3つのマズルカ」、ラヴェルの「クープランの墓」など、いずれも「小林愛実の現在地」が感じられるもの。今回は小ホールの親密な空間で彼女のピアノを聴くことができます。滅多にないこのチャンス、ぜひお聴き逃しなく!

10月には、クラシック音楽の世界に新たな風を吹き込むイケメン・デュオ「ピアノ・バトル」でお楽しみください。世界で活躍するアンドレアスとポールの2人が、「名曲対決」「超絶技巧対決」「エンタメ対決」など5ラウンドで勝負(プログラム・対決は、当日のお楽しみ)。まったく異なる演奏スタイル・音楽性を持つ2人のパフォーマンスはまさに血湧き肉躍るもの。また、その場限りの即興演奏も繰り広げます。バトルの勝敗を決めるのは客席にいるあなたです。

協賛: FM FUKU 興和江守株式会社

クラシック・エンターテインメント!
ピアノ・バトル
10.24(金) チケット発売中

18:15開場 19:00開演/大ホール
全席指定・車いす席 ¥4,000(小〜大学生:半額)
出演/ピアノ:ポール・シビス、アンドレアス・カーン 通訳:MC:朝岡 聡
曲目(予定)/ドビュッシー:月の光 ほか
(共催: 福井テレビ)

先着130名様無料ご招待!
対象/小学1年生~18歳以下
受付期間/10/10(金)17:00まで
詳細はこちら

協賛: FM FUKU

小林愛実 ピアノ・リサイタル
12.13(土)

14:15開場 15:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥5,000(小〜大学生:半額)
出演/ピアノ:小林愛実
曲目/シューマン:クライスレリアーナ
シヨパン:3つのマズルカ
ラヴェル:クープランの墓 ほか
※曲目は変更になる可能性がございます

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 9/9(火) 友の会: 9/10(水)
一般 9/13(土)

4公演チケット購入特典プレゼント!
「シヨパン国際ピアノコンクール」開催年に贈る対象4公演すべてのチケットをお買い求めいただいた方に

2026年1月10日(土)開催「ニューイヤーコンサート2026 ウィーン・リング・アンサンブル」公演のS席を半額でお楽しみいただける特典をプレゼント!

対象4公演のうち、以下2公演は終了いたしました。
●5/2 「貫川 風 ピアノ・リサイタル」
●6/25 「ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団」

※対象者は同一の購入者に限ります。購入者情報の統合は出来かねます。予めご了承ください。 ※「ニューイヤーコンサート」チケット(半額購入特典適用)は、お電話または当ホール窓口でお求めください。 ※半額購入特典と会員割引の併用はいただけません。



アコーディオン：シャロン・シャノン



ダンス：ザ・ステップクルー・トップ3 with ダン・ステイシー

超絶テクニクのダンスと音楽で一足早いクリスマスを一足早いクリスマスを

アイルランドのグラミー賞ともいわれるメテオラ・ミュージック・アワードをはじめ数々の賞に輝くシャロン・シャノンは、アイルランド大統領から「国宝」と称されるほどの国民的アコーディオン奏者。誰にも真似できない天性のグルーブ感で、聴く人みんなを笑顔にさせる音楽は唯一無二です。そんなシャロンと今回共演するのが、アイルリッシュダンスとタップダンスを融合させた「オタワヴァレー・スタイル」と呼ばれるダンスで世界的な注目を集める「ザ・ステップクルー」のトップダンサー3人と、オタワヴァレー・ダンスを世界に広めたダン・ステイシーの計4人。シャロンの演奏にバンドメンバーによるギターやパンジョーが加わり、それをバックに圧巻のダンスショーを繰り広げます。

また当日は、メンバーのひとり、キャラ・パトラによるダンス・ワークショッパや、公演でMCを務めるピーター・バラカンによるトークショー、さらにクリスマス・マルシェも開催!

協賛：福井テレビ

ケルティック・クリスマス2025
シャロン・シャノン &
ザ・ステップクルー・トップ3
with ダン・ステイシー

11.29 土

15:15開場 16:00開演 / 大ホール
全席指定・車いす席 ¥5,000 (小~大学生:半額)
出演 / アコーディオン:シャロン・シャノン(バンド編成)
ダンス:ザ・ステップクルー・トップ3 with ダン・ステイシー
(ジョン&ネイサン・ピラツキ
キャラ・パトラ、ダン・ステイシー)
MC:ピーター・バラカン



〈同日開催〉
①アイルリッシュ・ダンスワークショップ
②ピーター・バラカントークショー
③クリスマス・マルシェ
※詳細は10月末情報公表予定

先着270名様無料ご招待!
対象 / 小学1年生~18歳以下
受付期間 / 11/15(土) 17:00まで



ヴァイオリン：篠崎史紀 ヴァイオリン：倉富亮太 ヴィオラ：中村翔太郎 チェロ：市 寛也
コントラバス：菅沼希望 フルート：清水 伶 クラリネット：松本健司 クラリネット：豊永美恵 ホルン：庄司雄大 オルガン：山口鏡規

特別なヨハン・シュトラウス
マロと奏でる

2025年はヨハン・シュトラウス2世誕生200年にあたります。それを記念して、越のルビーアーティストのクラリネット奏者・豊永美恵が企画したのがこちらの公演。長年NHK交響楽団のコンサートマスターを務める「マロ」の愛称で親しまれている篠崎史紀を迎え、とおきのヨハン・シュトラウス作品をお届けします。篠崎と二十年來の親交がある豊永の、「マロのウィーン音楽をぜひ福井の皆様へ聴いていただきたい!」というかねてからの想いから実現しました。共演のメンバーは、いずれも、N響や新日本フィルハーモニー交響楽団の精鋭ばかり。また今回は山口鏡規のオルガン、そして今年20周年を迎えた福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナーの受講生も加わって、ここでしか聴けない特別な音楽を奏でます。

協賛：福井新聞社 FBC 福井テレビ

越のルビープロジェクトSpecial
J.シュトラウスII 生誕200年記念
~受け継がれしウィーンの心~

12.5 金

18:15開場 19:00開演 / 大ホール
全席指定・車いす席 ¥3,500 (小~大学生:¥1,500)
出演 / ヴァイオリン:篠崎史紀、倉富亮太
ヴィオラ:中村翔太郎、チェロ:市 寛也
コントラバス:菅沼希望、フルート:清水 伶
クラリネット:松本健司、豊永美恵
ホルン:庄司雄大、オルガン:山口鏡規
ゲスト:令和7年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生
曲目 / J.シュトラウスII (シェーンベルク編曲):皇帝円舞曲
L.モーツァルト:おもちゃのシンフォニー
J.シュトラウスII&J.シュトラウス:ピッチカート・ホルカ
B.ブリテン:シンプル・シンフォニー
J.シュトラウスII:美しく青きドナウ ほか



先着270名様無料ご招待!
対象 / 小学1年生~18歳以下
受付期間 / 9/13(土) 10:00~
11/21(金) 17:00まで



リヴァラン弦楽四重奏団 チェロ：遠藤真理

大人の音楽ファンに贈る 極上の体験

リヴァラン弦楽四重奏団は、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターの近藤薫が中心となって、2020年に長野市芸術館で結成されました。サラサート国際コンクールで優勝し、ソリストとして活躍するヴァイオリニスト川久保陽紀、NHK交響楽団首席ヴァイオリニストの佐々木亮、そしてドイツの名門ゲヴァントハウス管弦楽団の元首席チェロ奏者クリスティアン・ギガールの4人のメンバーは、いずれも超一流の実力の持ち主。「リヴァラン」とは、「川は流れる」という意味の造語で、絶えず流れて全てが繋がっていくという意味がこめられています。今回の4人にチェロの遠藤真理が加わり、観客の皆さまにはステージ上に設けられた客席で演奏を至近距離でお聴きいただけます。まさに大人のためのプレミアムコンサート。極上の音楽をご堪能ください。

協賛：URALA communication

「ステージできく」プレミアムコンサート
近藤 薫プロデュース
リヴァラン弦楽四重奏団 +1
(プラス・ワン)福井公演

2026.1.18 日

14:15開場 15:00開演 / 大ホールステージ
全席指定・車いす席 ¥4,000 (小~大学生:半額)
出演 / ヴァイオリン:川久保陽紀、近藤 薫
ヴィオラ:佐々木 亮
チェロ:クリスティアン・ギガール
ゲスト:遠藤真理(チェロ)
曲目 / シューベルト:弦楽五重奏曲 ほか
(企画制作:長野市芸術館)

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 10/21(火) 友の会: 10/22(水)
一般 10/25(土)

協賛：NICCA

秋の子ども音楽会
ステージで見て、聴いて、踊っちゃおう!
みんなあつまれ!ミュージックパーティー

10.5 日

2回公演 ①10:30開場 11:00開演 ②13:30開場 14:00開演
大ホールステージ
ステージ席(全席自由) ¥2,000 (0歳~高校生:半額)
出演 / ソプラノプロデュース:白根奈々、テノール:ケーシーハシモト、ピアノ:北野友梨
(制作補助:一般公募のディレクターズ)

みんなで楽しむ音楽パーティーへようこそ

恒例「秋の子ども音楽会」はソプラノの白根奈々プロデュースで、一緒に歌ったり手遊びで参加したりできる曲や、思わず体を動かしたくなるようなノリのいい曲をたくさん集めてお贈りします。家族で楽しいミュージックパーティーに参加してみませんか。

ソプラノプロデュース:白根奈々
テノール:ケーシーハシモト ピアノ:北野友梨

HARMONY HALL FUKUI presents ミュージカル「雪の女王」全キャスト決定

2022年の初演時にチケット2,000枚が即完した福井発の豪華オリジナルミュージカルが、いよいよ再演。公演の見どころは、12月発行号を乞うご期待!!

2026.2.20 金 ~ 23 月・祝 各日14:00開演

原作 / アンデルセン、脚本・作詞 / 高橋知加江、作曲・音楽監督 / 笠松泰洋、演出・振付 / 広崎うらん
出演 / 鶴見辰吾(語り手 ほか)、丘山晴己(雪の女王)、折井理子/中城杏梨(エルダ)
石津秀悟/古田伊吹(カイ)、小林大祐(トナカイ ほか)、北川辰彦(悪魔 ほか)
GOH IRIS WATANABE(バラの精 ほか)、篠木隆明(山賊の娘カリン ほか)
井上一馬(雪の軍団 隊長 ほか)、蛭牟田実里(オーロラの精 ほか)
岡野一平/橋 未佐子(ハト ほか) ほか、総勢90名 ※Wキャスト

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 11/11(火) 友の会: 11/12(水) 一般 11/15(土)

〈公演詳細〉
鶴見辰吾 丘山晴己



とよがえよしえ ●坂井市出身。東京都在住。名古屋音楽大学卒業後、ハンガリー政府給費奨学生および文化庁新進芸術家海外研修員としてハンガリー国立リスト音楽院を修了。岩城宏之音楽賞2009受賞。近年は青少年育成プログラムにも取り組む。D'Addarioリード専属アーティスト。日本クラリネット協会理事。東京ジュニアオーケストラサテライト講師。福井大学非常勤講師。

帰国後は、国内外のコンサートや音楽祭へ出演するほか、企画段階から公演に関わることも。「聴く人、共演者、スタッフなど違う立場で客観的に考え、全員がハッピーになる選択肢を探っています」と想いを語ります。

福井では「越のルビーアーティスト」...

越のルビーアーティストとは、(公財)福井県文化振興事業団運営の「越のルビーアーティストバンク」に登録する福井県出身もしくは在住のプロの演奏家のこと。このアーティストバンクの活動に(公財)げんてんふれあい福井財団にご支援をいただいております。



公式ホームページでは「越のルビーアーティスト」の演奏動画もご覧いただけます。 https://www.hhh.jp/artistbank/



ハンガリー国立リスト音楽院大ホールの学生席にて



2004年 F.ヒダシュ作曲「クラリネットソナタ」初演時の記念写真(左:ト.ディートリヒ先生、右:F.ヒダシュ先生)

今後の活動 10月25日(土): 王子ホール ハッピーバースデーコンサート MAROワールド Vol.54 "シュトラウスII世" by 篠崎"まる"史紀 / 王子ホール

ハンガリー留学で 芽生えたプロ意識。 客観的な視点を演奏に。

中学校の吹奏楽部からクラリネットを始めた豊永さん。「演奏が楽しく、当時はプロになりたいという意識はありませんでした」と語ります。 大学卒業後の先生探しの旅でハンガリー人の先生に出会い、現地でレッスンを受講。そのとき開かれていた音楽フェスティ

バルで各国のクラリネット奏者によるクラシック音楽やロマ音楽、ハンガリー民謡など多彩な音楽に初めて触れ、留学を決意します。 日本とハンガリーそれぞれの国から奨学金を受け、留学生活では周囲の人に助けられた豊永さん。感謝と同時に「責任」を自覚し、演奏家という職業について一から考え、プロを志すようになります。「現地では生活や心理面、歴史や宗教、人々の歴史的感情などが渦巻いて音楽や文化ができていくことを感じ、もの見方が変わりました日本人として表現者として物事を客観的に見る視点も身に付いた」と言います。

福井ゆかりの音楽家 越のルビーアーティスト 豊永美恵 (クラリネット)

12月

- 5 越のルビープロジェクト Special J.シュトラウスII 生誕200年記念 ~受け継がれしウィーンの心~
6 マルセラ・ラ・ブロンセ フラメンコ教室 第10回公演
7 第16回 日本パッサコンクール 福井地区大会
11 フコク生命 チャリティコンサート
13 小林愛実 ピアノリサイタル
14 コーラスグループうたうた 25周年記念演奏会
20 福井大学 吹奏楽部 第46回 定期演奏会
福井合奏団 第60回 定期演奏会
21 第1951回トヨタコミュニティコンサート「県民でつくる ぶきの第九 2025」
Music style 2025 ~ピアノ・エレクトーン演奏会~
27 松井恵美子門下生 ピアノ発表会

※□は、当ホールの自主公演でP.3~P.8、P.18に見どころなどが紹介されています。(10/24、11/29、12/13は、小学生から大学生まで半額) ※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。(8/27時点の情報です) ※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。

ハーモニーホールふくい コンサート情報

CONCERT INFORMATION

[2025.10.11.12]

10月

- 5 秋の子ども音楽会 ステージで見て、聴いて、踊っちゃおう! みんなあつまれミュージックパーティー
25 福井自由キリスト教会 創立70周年 アニバーサリーコンサート
26 男声合唱団ゴールデンエイジふくい GOLDEN CONCERT 2025 20周年記念演奏会

11月

- 1 第14回 福井県吹奏楽ソロコンテスト
2 スマイルコンサート
3 山内陸大 チェロリサイタル in 福井
7 FMRC The 12th Concert
8 福井県警察音楽隊 第26回 定期演奏会
9 横山だいすけ My Songs Concert
11 ミラビリスリコーダーコンソート 結成10周年記念コンサート
12 ふくい県民総合文化祭 ハーモニ文化フェス 2025
13 竹島 宏 コンサート 25周年の入り口 ~オパール~
18 ふくい県民総合文化祭 第18回「邦楽ふれあいフェスティバル」
19 ハーモニあそびアンサンブル 第31回 定期演奏会
24 クラシック・エンターテインメント! ピアノ・パトロール

未来人材の育成 こども文化芸術体験1万人プロジェクト

子どもたちに文化芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性を育て、次世代を担う人材を育てます。
多種多様な文化活動プログラムを展開しています。

出張音楽堂

越のルビーアーティストが県内の中学校・特別支援学校を訪問し、室内楽のコンサートを開催します。

●6月～ 学校数14校



学校に行くよ!

ドラムサークル体験会

障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめる参加型の芸術体験プログラムとして、参加者が輪になって行う即興の打楽器アンサンブル「ドラムサークル」の体験会を開催します。

●6月～ 学校数16校(小・中学校・特別支援学校)



ふくいアートキャリア講座
文化芸術分野の進路を希望する中高生を応援するためのキャリア教育プログラムです。実際に県内で文化芸術分野の仕事をしているゲスト講師によるリアル講座です。

●6月～(全4回) アオッサなど

アートの仕事を
知ろう!

～越のルビーアーティストが贈る～ 小学生のための音楽鑑賞会

子どもたちに本格的なホールでプロの演奏に触れる機会を提供するため、越のルビーアーティストによる音楽会を開催します。

●10月22日(水) ●11月5日(水) ●11月26日(水)
福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」小ホール



子ども無料チケット
県内の公立文化施設の主催公演を子どもたちが無料で鑑賞できるようにする取り組みです。豊かな創造力や思考力、コミュニケーション能力などを育み、将来の芸術家や鑑賞者を育成します。
※「子ども無料チケット」以外の事業は今年度の受付を終了しました。

レポート

事業紹介を通じて輪が広がる アートプロジェクト支援事業 キックオフミーティング

6月7日、29団体が自身の取り組みや活動計画を発表するキックオフミーティングが開催されました。「他団体の強い意気込みに励まされた」「普段知ることのないユニークな活動を知る機会になった」など前向きな声が聞かれ、文化団体同士の横のつながりを生む場にもなり刺激的な時間となりました。



参加者みんなが楽しむ親しむ 北欧の夏至祭 ～ヴェスタノーが奏でるスウェーデン伝統音楽の世界～

6月14日、北欧の伝統文化を体験できるイベントが開催されました。北欧の民族音楽コンサートに加え、ロップス(蝋の市)、ダーラナホース(木彫りの馬の置物)の色付け体験など多彩なプログラムを展開。来場者同士が自然と手を取り合って踊る場面もあり、音楽がたぐ温かい交流が生まれました。



芸術の秋がきたよ!

ふくい文化創造センター 活動ニュース

「ふくい文化創造センター」では、文化芸術に関する専門スタッフが、文化団体の活動の相談に応じたり、誰もが文化芸術を楽しめる環境づくりを行っています。
今回は新たな文化創造の種となる芸術祭と、子どもの感性を育てる人材育成の取り組みを紹介します。

第3回 熊川宿若狭芸術祭

令和7年 8月～11月

「臨場と共生」をコンセプトとした芸術祭です。
性別、年齢、国籍、障がいの有無を問わず、多様な表現者たちが若狭町熊川宿で創作活動を行います。

臨場・臨場展

国内外の現代美術作家や障がい者アーティストが熊川宿に一定期間滞在し、地域の歴史・文化をもとに、来場者や住民とコミュニケーションを図りながら公開制作を行います。

- ◆制作期間：8月22日(金)～8月31日(日)
- ◆展示期間：9月5日(金)～10月6日(月)
- ◆会場：熊川宿若狭美術館
熊川宿内の古民家

(参加アーティスト)
テオ・ムザール、マリヌ・ロワイエ
小清水 漸、黒鉄、藤原 孝、小林雅代
長谷光城、野田訓生



ミニコンサート at 熊川マルシェ

毎月最終日曜日に開催される「熊川マルシェ」。自然あふれる歴史のまち・熊川宿を散策しながら、スイーツやクラフト雑貨など、多彩なお店が立ち並ぶマルシェを楽しめます。今回は芸術祭の町民プロジェクトとしてTHEECOFFEEでミニコンサートも開催します。おいしいコーヒーと共に心地よい音楽のひとときをお過ごしください。

- ◆期間：9月28日(日)
- ◆会場：THEECOFFEE

「東極」の磁場 in WAKASA 2025

日本や東アジアの作家による作品展示のほか、ギャラリートークやパフォーマンスを実施します。

- ◆期間：10月11日(土)～11月16日(日)
- ◆会場：熊川宿若狭美術館
熊川宿内の古民家



子ども美術公開

子どもたちによる創造性あふれる制作活動の様子を公開します。子どもたちの作品も併せて展示します。
◆期間：8月27日(水)、28日(木)、29日(金)
◆会場：若狭町立保育園7園



近藤薫と仲間たちによる おむすびコンサート

東京フィルハーモニー交響楽団メンバーおよび越のルビーアーティストが熊川宿で音を創り、地元住民に音楽を届けるコンサートを開催します。

- ①近藤薫と仲間たちによるおむすびコンサート
◆開催日時：9月21日(日) 開場15:30/開演16:00
◆会場：パレア若狭
(演奏アーティスト)
近藤 薫(ヴァイオリン)、泉谷更沙(ヴァイオリン)
加藤大輔(ヴァイオリン)、山内睦大(チェロ)
遠藤終一郎(コントラバス)、竹沢友里(ピアノ)
- ②アウトリーチコンサート
9月20日(土) 11:00～12:00 熊川宿若狭美術館
9月20日(土) デイサービスセンターいずみ

熊川いっづく時代村

毎年秋に開催される恒例イベント「熊川いっづく時代村」。今回は、江戸時代から伝わる祭りばやしの披露をはじめ、芸術祭とのコラボ企画としてステージ発表などもお届けする予定です。にぎやかな秋の日をお楽しみください。

- ◆期間：10月5日(日) 10:00～15:00
◆会場：熊川宿一帯

詳細はこちらをご覧ください



<https://kumagawa-art.jp/>

スタッフからの メッセージ



これまでハーモニーホールふくい内外で行ってきた事業を拡充し、越のルビーアーティストや地元ゆかりの音楽家、地域の文化施設等と連携し、「生の音楽」「生の演奏」を通して子どもたちの感性を育み、感動を味わえる場を創っています。

問い合わせ・相談はコチラへ

公益財団法人 福井県文化振興事業団
ふくい文化創造センター
TEL.0776-38-8280
(9:00～19:00・休館日を除く)



キーパーソン

「みんなで舞台に立とう」を広げる会

代表 酒井晴美さん



さかい はるみ ●1990年福井劇の会への参加をきっかけに舞台に立つ。誰もが参加できる文化芸術のあり方を目指し活動中。「演劇やむなし」劇団員。NPO法人福井芸術文化フォーラム理事。紙ロボット作家ムラクムの活動にも関わっている。

誰もが輝ける舞台をみんなで作る
自ら発表の場を切り拓いてきた「ミナブタ」

「みんなで舞台に立とう」を広げる会（通称ミナブタ）は、年齢や障がいのあるを問わず、表現が好きなたちが集まり舞台に立とうという団体です。約20年前、代表の酒井晴美さんは特別支援学校の子どもたちと出会い、彼らにまっすぐで自由な表現に心を打たれました。しかし当時、障がいのある人たちが表現を発表できる場はなく、習い事にも通いづらい環境でした。酒井さんは「ないなら自分たちで作ろう」と保護者と共に立ち上がり、以来、「自分たちで考えてやる」ことを大切に活動を続けています。

年1回の自主公演を中心に、外部団体からの出演依頼、ワークショップやシンポジウム開催など、活動内容は多岐にわたります。10年目を迎える「障がいのある人にとっての、クオリティとは？」を模索し、プロのダンサーや演出家を招くなどして表現を追求してきました。「キャストが講師たちと音や



年1回テーマを決め和太鼓・ダンス・音楽劇などからなる公演を開催。今年4月に20周年記念公演を開催した。



プロパフォーマーの指導を受けられるワークショップにキャストも参加。「表現を磨く経験と舞台作りの勉強になりました」と酒井さん。

身体でコミュニケーションを取りながら、自分の意見を言い、主体的に動くようになっていく。その姿に刺激を受けた保護者も一緒に参加するようになり、みんなでつくる舞台になっていきました」と言います。

「舞台は生きる人間が光り出す場。障がいの有無はここでは関係がない」と語る酒井さん。「ミナブタ」はこれからも、一人ひとりの表現が輝く場を作り続けていきます。

【「みんなで舞台に立とう」を広げる会】
障がいの有無にかかわらず、大人も子どもも表現することが大好きな人たちみんなで舞台に立つ活動。現在キャスト・保護者・ボランティア・講師など100名を超えるメンバーが集まり実行委員会形式で運営している。2005年設立。

■活動報告はこちらから
<https://minabuta.jimdofree.com/>

※アートプロジェクト支援事業助成金の採択事業と活動者をご紹介します。

アートの息吹

エイトリボン（坂井市）

糸を織り込んで模様を作るジャカード織は、立体感と高級感で人気でしたが、近年はプリントが主流となり生産量は減少。坂井市丸岡町で8社が共同運営していたジャカード織リボン工場が廃業が決まった時、「織物産地の歴史と技術を未来につなげなければ」と地元織ネーム会社「松川レビヤン」が引き継ぎの手を挙げました。

美大生とコラボし、地元住民も巻き込んで、リボンを使ったタペストリー制作のイベントを企画したり、工場見学やワークショップを行ったりしてリボン文化の振興と継承に尽力。さらに地元観光の一助になればと、敷地内に

ショップ兼カフェを併設し、手芸用リボンの販売もしています。豊富な品揃えが話題を呼び、全国から多くの人が訪れ地元への誘客にも貢献。店内にはミシンを設置し、購入したリボンでストラップ作りなども気軽にでき、交流の場にもなっています。

隣で作る様子を見て「やってみようかな」と挑戦するカフェの利用客も多いそう。慣れない人にはスタッフのサポートもあり、手作りの楽しさやリボンに触れる機会を広く提供しています。またチロリリボンを使った作品コンテスト「レビヤンリボンアワード」を2020年から開催し、手芸愛好家の発表の場になっています。

「資源を消費してしまう製造業として、どんな社会貢献ができるかを常に考えています」と工場長の松川享正さん。今後の活動にも目が離せません。

株式会社 エイト

織ネームの老舗「松川レビヤン」が、2015年に廃業した「丸岡エイトリボン協業組合」を引き継ぎ再建。旧式のジャカードシャトル織機を使う日本最大のリボン工場で、工場見学（有料・要予約）を実施するほか、敷地内の「RIBBON'S CAFE（リボンスカフェ）」では手芸用リボンやリボン雑貨の販売、ワークショップを開催。

坂井市丸岡町堀水13-8
TEL.0776-66-3550
<https://eightribbon.jp/>

ribbonscafe（リボンスカフェ）

※「アートの息吹」は県内企業のアートを通じた社会貢献活動をご紹介します。

アートプロジェクト インフォメーション 各イベント情報の詳細はこちらをご覧ください



福井映画祭2025
11/30(日)

福井映画祭実行委員会が福井県内で制作した映画と招待作品の上映をします。
●福井小劇場(福井市順化1-2-14)
●当日1日通し券2,000円、前売1日通し券1,500円
◎福井映画祭実行委員会 ☎mail@fukuifilmfestival.jp

コンテンポラリーダンスワークショップ
12/6(土) 13:00~

来年2/8フェニックス・プラザで開催する「コンテンポラリーダンスフェスティバル」に出演するダンサーによるワークショップを開催します。身体をつかって表現してみたい方などお気軽にご参加ください。
●田原可ミュージック(福井市田原1-20-1)
●500円
◎NPO法人福井芸術文化フォーラム ☎0776-23-6905
FAX.0776-23-7905 ☎geibun@geibun.info

ふくいとどきどき劇場 成果発表会(仮称)
12/7(日)

7月~12月にかけて20代~60代までの幅広い年代の参加者17名が集まり、自分たちを題材にゼロから演劇を作りました。約半年間の旅の成果を一緒に見届けていただけたら嬉しいです！
●PLAYCE(福井市中央1丁目3-5 FUKUMACHI BLOCK 1期)
●1,000円
◎WAKU ☎wakuwakufukui@gmail.com

（公財）福井県文化振興事業団のホームページでは助成事業の一覧をご覧ください。

第10回福井駅前短編映画祭
supported by 天晴データネット

11/7(金)、9(日) 13:00~18:00
11/8(土) 9:00~18:00
津田寛治さんを審査委員長に迎え、短編映画ならびに「ふくいムービーハッカソン」で制作された映画を上映します。監督・役者などを迎えたトークイベントも開催します。
●7日、9日:コジナガヤ(福井市中央1丁目14-4)
8日:テアトルサンクススクリーン5(福井市中央1丁目17-1)
●7日、9日:無料 / 8日:前売1,500円、当日2,000円
◎ふくいまなかムビープロジェクト ☎moviehackathon@gmail.com

THE奇談〜妖怪絵師
マツ・マイヤーの世界〜

11/15(土)~24(月・休)
妖怪絵師マツ・マイヤー氏の福井に纏わる作品や制作工程の紹介など、奇談文化を知る・感じる・関わる事ができる展覧会を開催します。
●福井新聞社風の森ホール(福井市大和田2丁目801)
●大人600円、子ども400円
◎奇談プロジェクト実行委員会 ☎0776-57-5180

越前おおのめいりんオペラ塾・
トレモロコンサート

11/30(日) 14:00~
オペラ公演とアート作家による展示を行います。10月5日(日)には舞台上で使用する大道具づくりワークショップも開催します。
●学びの里めいりん講堂(大野市城町9-1)
●1,000円(高校生以下無料)
◎鮎本淳子 ☎090-2834-2691
◎声楽楽器店 ☎0779-65-6888

さばえまつり
9/27(土) 13:00~20:00
9/28(日) 10:00~17:00

「つくるを祝う祭典」として始まった市民参加型のまちの祭り。今年は3つの仮想のまちと益踊り大会で未来の鯖江を表現！
●西山公園 芝生広場(鯖江市桜町3丁目8-10) ●入場無料
◎さばえまつり実行委員会 ☎sabaematsuri@gmail.com

ふくいこども美術館 廃材で遊ぼう！

10/4(土)、5(日) 10:00~16:00
廃材をつかって絵を描いたり、音を奏でたり。ひらめきから、どんなアートが生まれるかな？
●金津創作の森(わくわくこっぴろハスマーケット内)
◎こども美術館実行委員会 ☎kodomo.bijyutsukan@gmail.com

第16回きらりアート展

10/16(木)~27(月) 9:00~20:00
県内の障がい者アートの公募展。障がい者の芸術才能の発露、生きがいの機会となっています。障がい者理解を深め、かがやきと希望のある共生社会の実現を目指しています。
●パルオ若狭 ギャラリー(三方上中郡若狭町市場18-18) ●入場無料
◎シニアアート実行委員会 事務局 若狭町社会福祉協議会 ☎0770-62-9005

FMRC The 12th Concert

11/7(金) 19:00~
発足以来40年間九州の中世ルネサンス期の音楽を中心に、教会音楽や世俗曲をレパートリーとして活動を続けているFMRC(福井中世ルネサンスコンサート)のコンサートを開催します。
●福井県立音楽堂ハーモニウム小ホール(福井市今市町40-1)
●全席自由1,000円
◎FMRC 福井中世ルネサンスコンサート ☎m.kuma3839@gmail.com

若狭の文化

―伏流する空間の記憶のなかにあって―

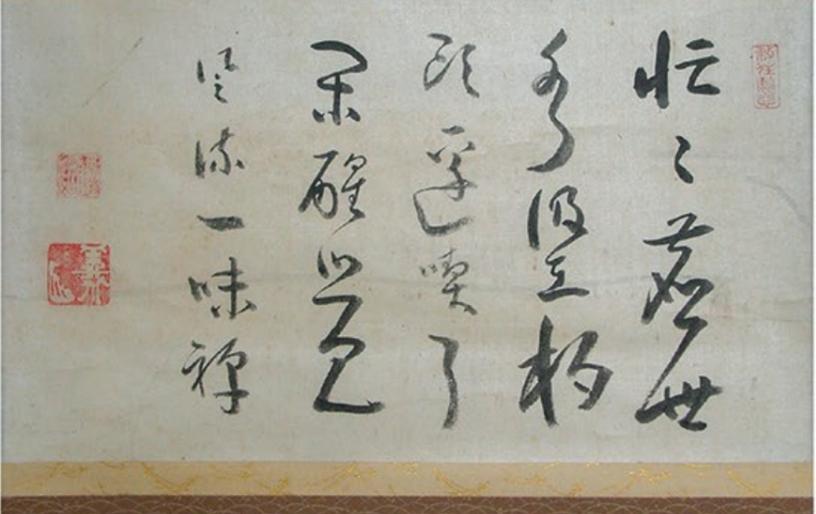
若州一滴文庫館長
永江寿夫



ながえ・ひさお ●1959年若狭可生まれ。天龍寺金剛院、大徳寺本坊に寄寓。1987年より町の文化財保護行政に携わり、若狭三方郷文庫館長、若狭町歴史文化館館長を歴任。4月より現職。単著「町並みの保存と創造」や共著「観光まちづくり」、「文化遺産と現代」ほか。

忙々塵世水
汲在杓頭邊
喫了閑醒覺
風流一味禪

【思い】
いつの時代も一切が、あくまでも自己の問題として坐禅せよとの端的なお示しかと拝します。



儀山善来禪師の墨蹟

若狭は、わが国の中ほどに位置して、半島に守られた日本海有数のリアス式海岸を有することから、海の幸の極めて豊かな地域であります。その歴史は、鳥浜貝塚を代表とする縄文時代にまで遡り、日本文化の基層とも言える「共生と循環の世界」を体現してきたのです。またここは、大陸文化の玄関口でもあり、古墳時代には若狭の国造膳臣が、文字通り大和政権の食を担うとともに、出土品が証する海を越えた朝鮮半島との関係がありました。律令期に入ると木簡が示す奈良や「延喜式」に記された京へ食を送る「御食国」の役割を担い、今や「鯖街道」の呼称が語るように、古代より一貫して海の幸と不可分の関係にあったのです。そして、海に面した若狭の真南には、奈良と京の都が位置してきました。

百済から伝来した仏教については、公伝より古い西暦500年ころに百済との交流を示す出土品が前方後円墳から発見されており、いち早い仏教の伝播も想像されます。正倉院をシルクロードの終着点とするならば、若狭に居な

がらにしてその壮大な流れが感得できるのです。また、「若狭は民俗文化の宝庫」と言われ、多様な伝統行事が継承されており、まさに本居宣長が「玉勝間」のなかで、「かたみなには いにしえさまのみやびたること」のこれるたぐひ多し」と、既に200年も前に書かれたことが行われてきました。

さらに、民俗文化とは対象的な明治維新以降の近代文明に対峙したこととして、若狭から出た禅僧の存在も特筆されなければなりません。なかでも、越後の禅師である儀山善来の「一滴水の教え」があります。それは、滴水宜牧、さらに江戸無血開城を成し遂げた山岡鉄舟へ、また夏目漱石の師となった同じく若狭を出自とする釈宗演へとつながるわけです。

この流れを受け継ぐこととして、大飯で誕生した小説家水上勉が私財を投じて40年前に造られた施設に、自身の名を冠した文学館とはせずに「一滴文庫」と命名されたのは、同郷の先覚、儀山禅師を仰ぎ、ご自身の文学の先に、近代の彼方の射程を見通す普遍的視野をお持ちであったからでありましょう。「若狭路」において、「京の寺々は観光で生活するが、若狭の寺は信仰によって生きる」と水上は書きました。しかし、これはもう半世紀も昔のこと。近代と世界資本主義に席捲され、コロナと戦争でいよいよ厳しい現代にあっては、今や都市も田舎も、そして世界中、変わりがあります。

こんな時代にあつて来年は、若狭の法順寺で17年ぶりに秘仏の十一面観世音菩薩様の御開帳がなされます。若狭にあつては、時代を超えた空間の記憶のなかで、「文化財」以前の「何ごとかがおわします」本来的な世界を拝ませたいことができるとは、私には、こんなふるさと若狭が大好きです。

古きを訪ねて

日向神楽 (坂井市)



①天岩戸から出た天照大神の「真ノ舞」
②米を蒔いて舞台を清める「散米(さんまい)」
③天岩戸を開こうとする戸隠明神(とがくしみょうじん)の舞「戸取(ととり)」

天岩戸神話を舞い、世の平穏と五穀豊穡を願う

ときに激しく、ときに優美に。霊妙な舞の数々を長畝八幡神社に奉納する日向神楽。そのルーツは日向国(現・宮崎県)の日本神話を題材とする神楽舞にあり、坂井市丸岡町に伝わったのは300年以上前に遡ります。

元禄8(1695)年、日向国延岡藩主だった有馬清純が丸岡藩に移封された際、神楽舞の集団を帯同したのが始まり。藩お抱えの舞人として、丸岡城下の各神社で神楽を奉納していました。しかし、明治に入ると廃藩により舞人は扶持を失い、神楽は廃絶となり、これを憂いた長畝の有志が明治15年に神楽講を組織し、最後の舞人から舞を習い、お面ほか一式を受け継いで神楽を復活。今もその子孫たちを中心とした長畝日向神楽保存会(山田正行会長)により大切に守り継がれています。

現在は毎年9月第3土曜と日曜の秋季例大祭の両日、太鼓や笛、鉦の奏楽



長畝八幡神社/坂井市丸岡町長畝



Information
・秋季例大祭 令和7年は9月20日(土)・21日(日)
夜神楽:20日19時~
昼神楽:21日14時~
・長畝日向神楽伝承館(長畝八幡神社境内)
見学希望はTEL.0776-66-3658
保存会 山田会長まで

※移封: 国替え ※扶持: 藩からの支給

横山だいすけ My Songs Concert

主催：MIN-ON

“うたのおにいさん”として人気を博し、「だいすけロス」を巻き起こした横山だいすけ。「歌でもっと多くの人々に勇気と笑顔届けたい」と、クラシックやJ-POPにも挑戦し、幅広い世代が楽しめるステージを繰り広げます。



横山だいすけ

開催日時／11月9日(日) 14:15開場 15:00開演 会場／ハーモニーホールふくい 大ホール **発売中**
 料 金／全席指定・車いす席 ¥6,500 (5歳～大学生:半額) ※ハーモニーホールふくいチケットセンターのみの取扱い
 出演者／横山だいすけ(ヴォーカル) ほか

大人のくつろぎ音楽堂フェス JAZZ井

主催：福井新聞社

UAを筆頭に、ジャンルを超えて活躍する豪華アーティストや気鋭のミュージシャンが集う、大人のためのホール型ジャズフェスティバルです。ワインBARやおつまみなどもご用意しておりますので、どうぞお楽しみに。



UA

開催日時／11月22日(土) 14:00開場 15:00開演 会場／ハーモニーホールふくい 大ホール **発売中**
 料 金／全席指定・車いす席 ¥8,500 ペア券 ¥15,000
 出演者／UA、山下洋輔(ジャズピアノ)、坪口昌森 Textures guest 菊地成孔(サクソ)
 ソエジマトシキ(ギター)& Nahokimama(トランペット)、坪口昌森(総合プロデューサー、ピアノ) ほか

バリアフリーコンサート2025 ～冬、そしてクリスマス～

障がいのある方も、小さなお子さまがいるご家族も、年齢や国籍なども関係なく、すべての人が一緒に楽しめるコンサートです。ケアルームや字幕など、様々なサポートもご用意しておりますので、リラックスしてお過ごしください。



中田けい 前川明音 伊藤明美 長谷川佳子

開催日時／11月30日(日) 13:15開場 14:00開演 会場／ハーモニーホールふくい 大ホール **発売中**
 料 金／全席指定・車いす席 ¥1,000 障がい者手帳等をお持ちの方 ¥800 (0歳～高校生:半額)
 出演者／中田けい(ソプラノ)、前川明音(クラリネット)、伊藤明美(ピアノ)、長谷川佳子(パイプオルガン)

20th Anniversary 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー 成果発表会

協賛：FCTV SCTV

弦楽器を学ぶ子どもたち(小学生～大学生)に「仲間たちと音楽を作り上げる喜びを知ってほしい」という想いで始まったセミナー。開講20周年を記念し、本セミナー修了生であるヴァイオリニスト篠原悠那をゲストに迎え、充実したプログラムをお届けします。輝きを放つ若き音楽家たちの演奏をお楽しみください！



昨年の成果発表会の様子

開催日時／2026年3月21日(土) 16:00開演 会場／ハーモニーホールふくい 小ホール
 料 金／無料(要整理券) **整理券配布開始/1/24(土)10:00～**
 出演者／篠原悠那(ゲスト:ヴァイオリン)、令和7年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生
 協力：福井水仙ロータリークラブ

来年3月 オープンデイズ2026「スプリング・フェスティバル」出演者募集！

オルガン探検、楽器体験、アートツアーなど、子どもから大人まで参加できるホール開放型イベントを今年度も開催。「スプリング・フェスティバル」の出演者を募集します。



これまでの様子

開催日時／2026年3月20日(金・祝)、21日(土)、22日(日) 受付開始／10月29日(水)
 対象者／県内に拠点を置き、2年以上の活動歴がある団体または個人 **詳細は10月上旬発表予定**

編集後記

「実りの…」と言えば「秋」。福音館書店出版・藤巻史絵作の児童書『美乃里の夏』では、小学5年生の美乃里のひと夏の心の成長が描かれています。読者の皆さまも、各種大会の多い夏休みに、子どもたちの成長を間近で実感された憶えがおりかた。夏の風物詩で今年20回目の若い芽コンサート、翌々週開催の「15年ぶり再結成」のピアノトリオ公演。それぞれに若い演奏家たちが、互いの「現在地」を確かめ、切磋琢磨し合いました。ホワイエでは出演者の同級生のみならず、保護者の同窓会の輪があちこちに広がっていました。子ども達の自主性を重んじる令和流教育時代。「若い時の苦労は買ってでも…」は時代遅れでも、未来を創る若者たちが将来輝けるよう、音楽や文化の面からしっかりサポートしていきます。

【ハーモニーホールふくい 特別協賛社ご芳名】 ※50音順

公演協賛社(2025.4-2026.3)

URALA communications	関西電力 power with heart
(公)おげんでんふくれあい福井財団	Kanetsu 興和江守株式会社
NICCA	福井FUKUJI
福井銀行	FCTV SCTV
福井新聞社	福井信用金庫
福井テレビ	FBC
FUKUVI	株式会社増田舎
ますも証券	

法人協賛社

JAKUETS	株式会社新内	福井県民	福井銀行	福井県JA/コフ
福井信用金庫	FUKUVI	北陸銀行	三井商事株式会社	

Essay

ウエルビーイングと文化芸術
その根源とは

文 朝倉由希



あさくら ゆき ●福井市生まれ・在住。京大文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士(学術)。アートマネジメント、文化政策を専門とする。2017年度から文化庁地域文化創生本部研究官。2021年4月から公立小松大学国際文化交流学部准教授。福井県芸術文化アドバイザー。共著に「文化で地域をデザインする—社会の課題と文化をつなぐ現場から」(学芸出版社、2020)など。

ウエルビーイングへの関心が高まっている。ウエルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態を指す。「幸福」に近い意味合いだが、瞬間的・個人的な感情としての幸福(ハピネス)よりも、社会状況も含め、人々が幸せに生きられる状態を指す概念である。

何が幸せをもたらすのか。それは有史以来、人間の関心の対象であったに違いない。しかし、なぜ今これだけウエルビーイングが注目されるのか。その背景には、物質的・経済的な豊かさが必ずしも幸せにつながっていないという実感の広がりがある。本当の豊かさとは何か、幸福の本質とは何かが問われている。

ウエルビーイング、つまり真の豊かさの実現において、文化芸術は大きな役割を持っている。近年そのことがエビデンスとしても示されるとともに、政策推進のうえでも浮上してきた。2019年、世界保健機関(WHO)は、芸術が健康と幸福の向上に果たす役割に関する世界中の研



ハーモニーホールふくい開館25周年記念ミュージカル「雪の女王」では、第一線で活躍する演者やスタッフと共に、県民60人が合唱やダンスで出演した。来年2月には新たなメンバーで再演される(2022年9月・ハーモニーホールふくい)

究結果を収集し、その後も研究プロジェクトを継続している。日本でも、「文化芸術推進基本計画(第2期)・2023年閣議決定」において「人々のウエルビーイングの向上を図るためにも、文化芸術が果たすべき役割が増大している」と示された。

福井県が2024年に策定した「福井県文化振興プラン」も、ウエルビーイングを最終的な目的に掲げている。県民が多様な文化に触れるとともに主体的に活動に参加。それがまちづくりをはじめ広い分野に波及することで文化力が高まり、ウエルビーイングの実現につながるという構想を描き、施策を着実に進めていくために動き出している。

文化芸術は、楽しさや感動、精神的な安らぎをもたらすものであることは多くの人が共感することだろう。ただ、ウエルビーイングにつながる文化芸術の力は、単に個人的な楽しさや感動にとどまるものではない。交流により多様な人々をつなげ、孤立を解消する力もある。また、創

造性を高め、多様なものの見方を養い、異なる価値観を受け入れる能力を高める力もある。文化芸術が社会の寛容性を高める力は、個のみならず社会のウエルビーイングを実現するうえで、きわめて重要である。

今年(2024)は戦後80年。教育、科学、文化を通じた国際平和と人類の福祉の促進を目的としたユネスコの憲章が採択されたのも、80年前の1945年11月である。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」。ユネスコ憲章の前文はこの崇高な理念から始まり、文化の普及が国際平和と人類の共通の福祉に欠かせないことをうたった。利己主義、分断、不寛容が世界を覆う今、この言葉が重く響く。自己の喜びだけでなく、異なる立場にある他者の幸福をも大切に思うような想像力を持つこと、そして多様な価値観を受け入れる土壌を育てることが、ウエルビーイングにおける文化芸術の究極の役割ではないだろうか。